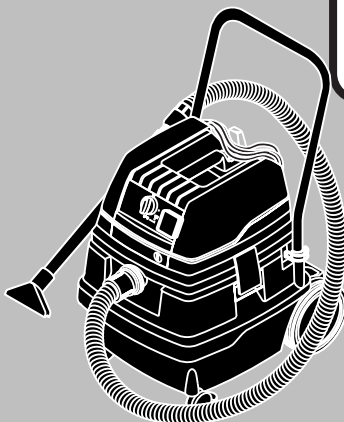
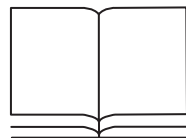


取扱説明書

i



マルチクリーナー PRO
(連動コンセント付)

GAS 25 型
GAS 50 型

このたびは、弊社マルチクリーナーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。



BOSCH

目次

●安全上のご注意	
警告表示の区分	2
電動工具全般についての注意事項	2
マルチクリーナーPROについての注意事項	7
●本製品について	
用途	12
各部の名称	12
仕様	14
標準付属品	15
●使い方	
作業前の準備をする	16
作業する	21
●困ったときは	
故障かな?と思ったら	25
修理を依頼するときは	27
●お手入れと保管	
クリーニング	28
保管	30
●付録	
別売アクセサリ	31

ご安全
注上の
意の

つ本製
い品の
てに

使
い
方

困
った
とき
は



保
お
手
入
れ
と
管

付
録

安全上のご注意

- ◆火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたマルチクリーナーPROには、当てはまらない項目も含まれています。

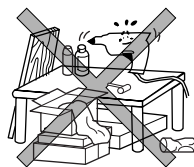


警 告

ご安全
注 上
意 の

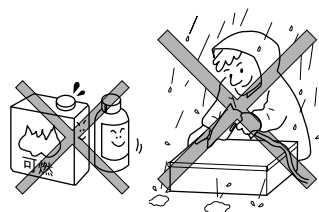
1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

- ◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
- ◆ 作業場は十分に明るくしてください。
- ◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。

- ◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)

4. 子供を近づけないでください。

- ◆ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
- ◆ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

- ◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

- ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

- ◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- ◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。



9. 保護めがねを使用してください。

- ◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

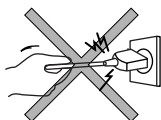
- ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

- ◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

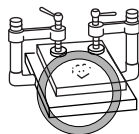
12. コードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- ◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。



13. 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。



14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

- ◆ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

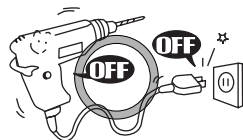


15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。



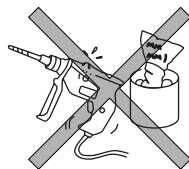
21. 損傷した部品がないか点検してください。

- ◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- ◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。

取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

- ◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



22. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、マルチクリーナーPROをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。



警告

1. 必ずアース（接地）してください。

- ◆ アース（接地）しないと、故障したり漏電したりした場合、感電の原因になります。
 - ・ アース線に異常がないか確認をしてください。
 - ・ アース（接地）と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源の使用をお勧めします。
 - ・ アース（接地）や漏電遮断器に関して以下の法規がありますのでご参照ください。
 - ・ 労働安全衛生規則（第333条、第334条）
 - ・ 電気設備の技術基準（第18条、第28条、第41条）

2. アース線をガス管に接続することは、やめてください。

- ◆ ガス管への接続は、ガス爆発を招きます。
- ◆ 作業場にアース端子を設けるときは、電気工事士（有資格者）に接地工事を依頼してください。

3. 延長コードを使用する際は、必ずアース線を備えた3芯の電源コードを使用してください。

- ◆ アース線のない2芯の電源コードを使用すると、感電の原因になります。

4. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で供給してください。

- ◆ 表示以外の電圧で使用すると、回転が異常になり、事故の原因になります。

5. 使用中に本体の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。

◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

6. 誤って落としたり、ぶついたりしたときは、ホースやノズル、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

7. 金属の切り粉、切断作業時に発生する火花、火の付いたタバコの吸いがらなど高温のものや引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）および油、薬液などの液体は絶対に吸引しないでください。また、引火および発火性のものの近くでは使用しないでください。

◆ 出火や爆発の原因になります。

8. 鋭利なもの（釘やカミソリの刃など）を吸引しないでください。

◆ けがや故障の原因になります。

9. 人体に害を及ぼす物質（石綿など）は絶対に吸引しないでください。

10. 使用中は、ノズルやホース接続口に、手や顔などを近づけないでください。

◆ けがの原因になります。

11. 本体を雨中で使用したり、水などをかけたりしないでください。

◆ 感電や故障の原因になります。

12. 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、本体および電動工具（電動工具連動コンセントに接続する）の電源が切れていることを必ず確認してください。

◆ 電源を入れたまま電源プラグを差し込むと、急に動き出し事故やけがの原因になります。

13. 電動工具連動コンセントには、二重絶縁および3ピン電源プラグ（アースピン付）付電動工具以外は絶対に使用しないでください。

また、消費電力が、50～820Wの範囲を超える電動工具は接続しないでください。

◆ 感電や故障の原因になります。



注 意

1. アクセサリーは、取扱説明書に指定してあるものを使用してください。
 - ◆ 指定外のアクセサリーを使用すると、故障の原因になります。
2. アクセサリーやモーター部とタンクの接続は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ◆ 確実にしないと外れたりし、事故の原因になります。
3. 吸引したものを取り除くときやアクセサリーを取り付けるとき、または点検・整備の際は必ず電源プラグを電源コンセントから外してください。
 - ◆ 不意に作動すると感電や事故の原因になります。
4. 電源コードを持って運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。
 - ◆ コードが損傷し、故障の原因になります。
 - ◆ コードが損傷した場合は、直ちに作業を中止し、修理に出してください。
5. ストーブなど高温のものに近づけないでください。
 - ◆ 変色や変形の原因になります。
6. タンクの中に、汚水や汚物を入れたままにしないでください。
 - ◆ 悪臭の発生やタンクのいたみの原因になります。
7. 使用前に、メインフィルターやホースなどのアクセサリーが、確実に取り付けられているか、必ず点検してください。
 - ◆ 事故や故障の原因になります。

8. 本体のノズル・吸気口・排気口をふさいだ状態で使用しないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。
9. 本体を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ◆ 故障の原因になります。
10. コンクリートや石材の粉じん等、粒子の細かなゴミを吸引する場合は、必ずペーパーバッグを併用してください。
 - ◆ 故障の原因になります。

本製品について

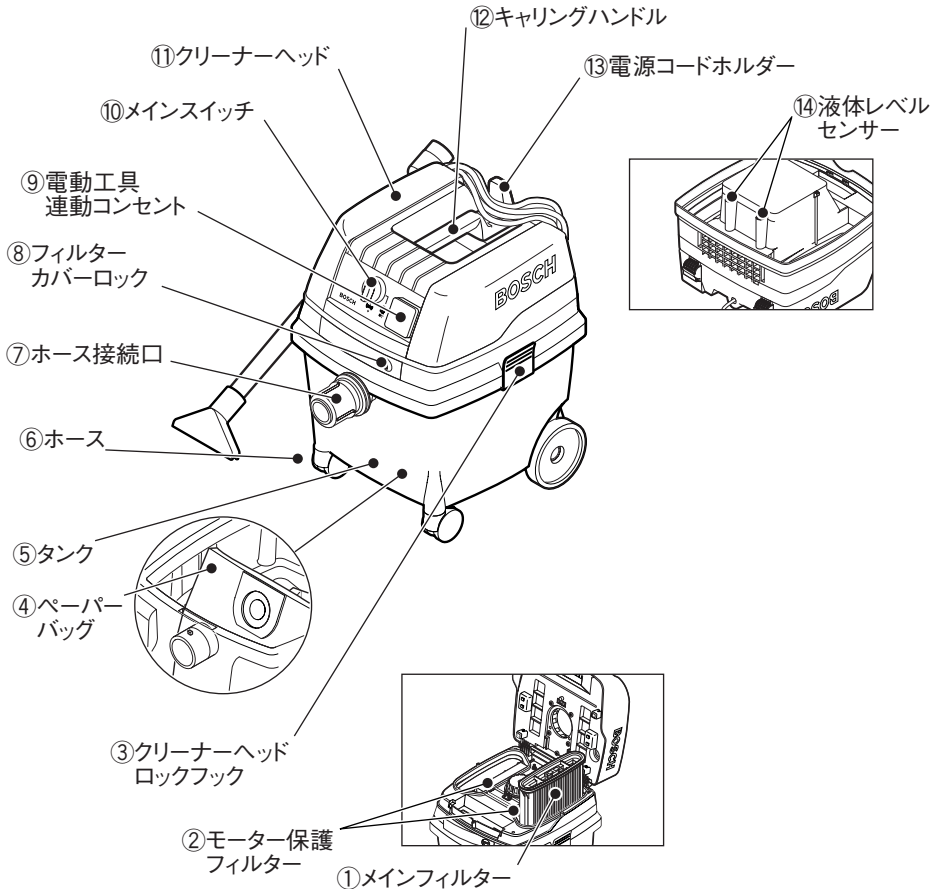
用途

- ◆ ゴミや水の吸引
- ◆ コンクリートや石材の細かい粉じんの吸引

本製品について

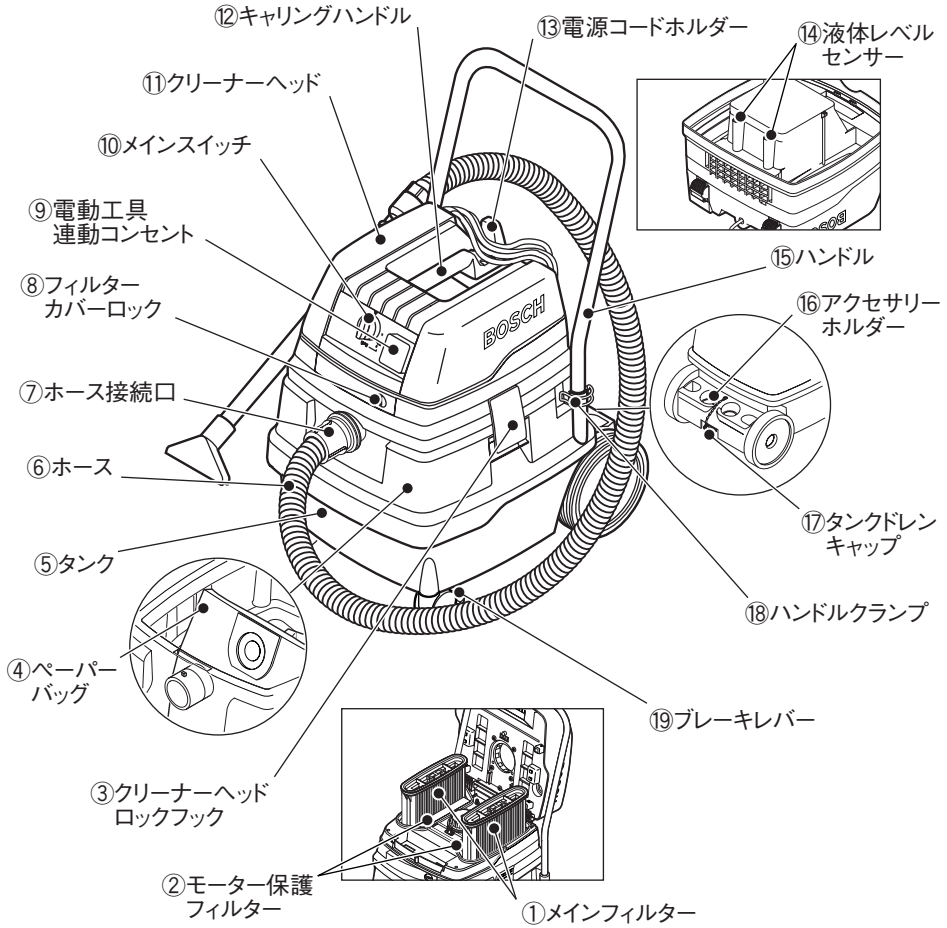
各部の名称

GAS25



◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

GAS50



つ本
製
い
品
てに

◆このイラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

仕 様

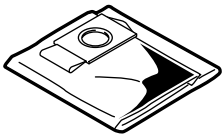
型 番	GAS25	GAS50
電 源	単相AC100V, 50/60Hz	単相AC100V, 50/60Hz
消費電力 (入力)		
on ポジション	1100W	1100W
⏻ ポジション	630W	630W
風 量	3.7m ³ /min	3.7m ³ /min
真空度	248ヘクトパスカル	248ヘクトパスカル
吸じん容量		
一般ゴミ	20L	45L
液 体	16L	43L
ペーパーバッグ	9L	21L
連動用コンセント (接続可能な電動工具の消費電力)	50~820W	50~820W
質 量		
本 体	約12.7kg	約17.7kg
ハンドル	—	約1.5kg
電源コード	8m	8m

つ本
製
い
品
てに

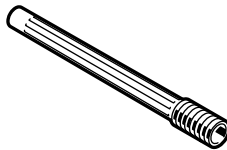
標準付属品

①ペーパーバッグ	GAS25用 (1枚)	品番: 2 605 411 167*
	GAS50用 (1枚)	品番: 2 605 411 163*
②35φ樹脂パイプ (2本)		品番: 2 607 000 162
③吸引力調整ノズル		品番: 2 607 000 164
④35φすき間ノズル		品番: 2 607 000 165
⑤35φマットノズル		品番: 2 607 000 170
⑥35φホース (3m)		品番: 2 607 000 837
⑦メインフィルター	GAS25用 (1個入)	品番: 2 607 432 015
(本体組み込み済み)	GAS50用 (2個入)	品番: 2 607 432 017
⑧35φノズルセット		品番: 1 609 390 478
⑨ハンドル (GAS50のみ)		品番: 1 609 203 C93
(ハンドルクランプ付)		

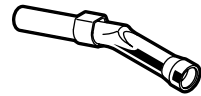
つ本
製
い品
てに



①



②



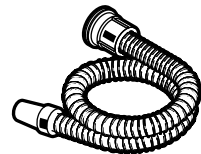
③



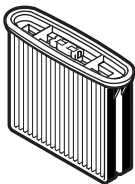
④



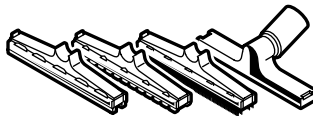
⑤



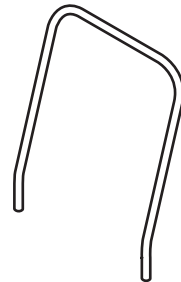
⑥



⑦



⑧



⑨

*別売アクセサリーのペーパーバッグは5枚入り

使い方

作業前の準備をする



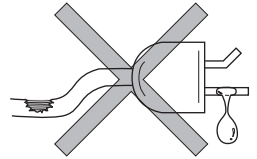
- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグ、アース線が損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店または弊社修理認定工場に修理を依頼してください。




使
い
方

● 使用電源を点検する

- 単相 AC100V (50/60Hz) か？
- コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- 電源コードやアース線が断線していたり、電源プラグが破損していたりしないか？



● キャスターのブレーキを掛ける・放す (GAS50のみ)

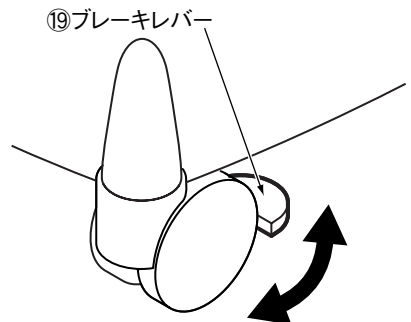
 本体を動かすときは、ブレーキが掛かっていないことを確認してください。

掛ける

前側のキャスター（左右両方）に付いている「ブレーキレバー⑱」を押し下げます。

放す

「ブレーキレバー⑱」を引き上げます。

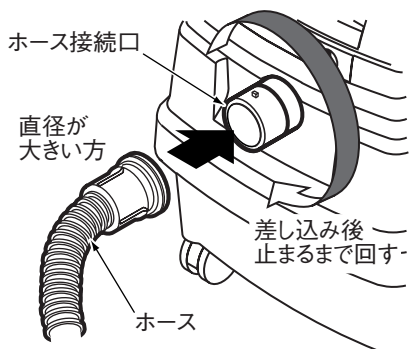


● ホース、樹脂パイプ、およびノズルを取り付ける・取り外す

☞ 吸じん作業状況に合わせて樹脂パイプやノズルを使用してください。

取り付け

- ① ホースを接続するときは、本体のホース接続口にホースの末端（大きい方）を差し込み、止まるまで時計方向に回します。
- ② 樹脂パイプやノズルを接続するときは、緩みがないようにしっかりと奥まで挿入します。



取り外し

- ① 樹脂パイプやノズルは引き抜いて取り外します。
- ② ホースはホースの末端を持ち、反時計方向に回して本体のホース接続口より取り外します。

使
い
方

● ペーパーバッグを取り付ける・取り外す

☞ 乾いたゴミを吸引するときは、ペーパーバッグを取り付けてください。特に、コンクリートや石材の粉じんなど、粒子の細かいゴミを吸引するときは必ずペーパーバッグを取り付けてください。

ペーパーバッグを使うと、メインフィルターが目詰まりしにくくなり、吸引力が持続します。また、ゴミ捨てが簡単になります。

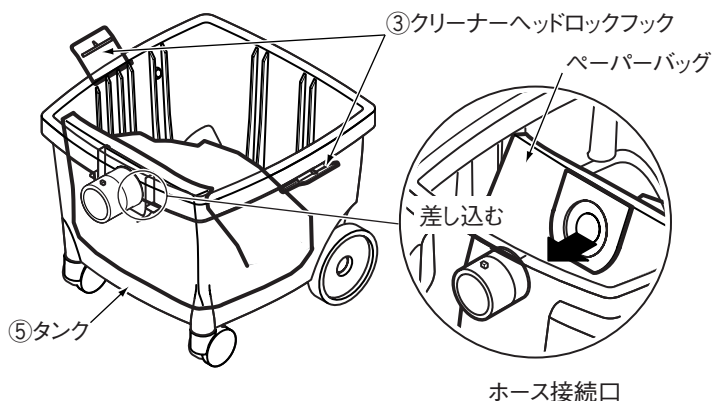
☞ 水や湿ったゴミを吸引するときは、ペーパーバッグを取り付けしないでください。

取り付け

- ①「クリーナーヘッドロックフック③」を外し、クリーナーヘッドを取り外します。
- ② ペーパーバッグをタンクに取り付けます。

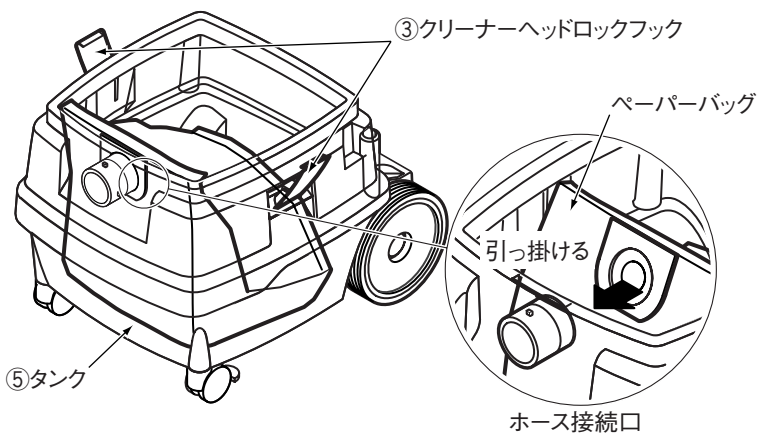
GAS25

ペーパーバッグのプラスチック接続部をホース接続口の裏側に、下部を押し込んだあと差し込み取り付けます。




GAS50

ペーパーバッグのプラスチック接続部をホース接続口の裏側に、下部を押し込んだあと上部突起部に引っ掛けて取り付けます。



- ③ ペーパーバッグをホース接続口側のタンク内面全体に広げます。
- ④ クリーナーヘッドをタンクに載せ、「クリーナーヘッドロックフック③」をクリーナーヘッドに掛けて固定します。

 左右2か所にあるので、掛け忘れのないようにしてください。

取り外し

- ① 「クリーナーヘッドロックフック③」を外し、クリーナーヘッドを取り外します。
- ② ペーパーバッグを取り出します。

GAS25

ペーパーバッグのプラスチック接続部を後方へ引き外します。

GAS50

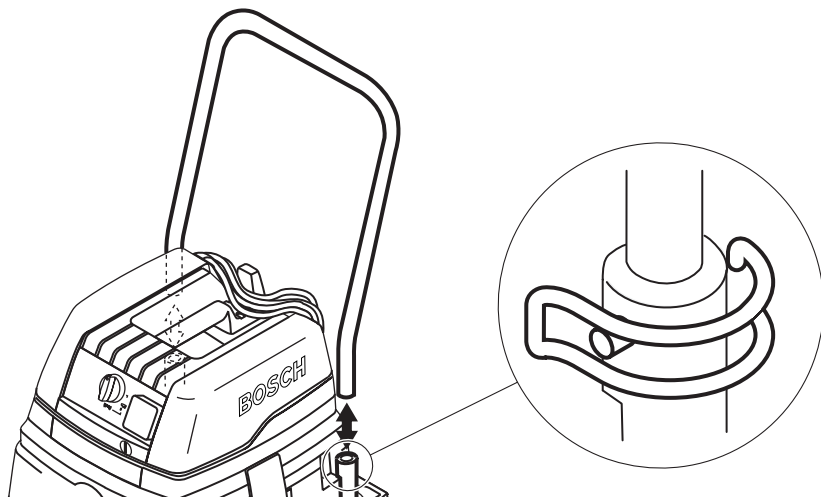
ペーパーバッグのプラスチック接続部を後方へ引き外し、ペーパーバッグのふたを開けてから取り出します。

- ③ クリーナーヘッドをタンクに載せ、「クリーナーヘッドロックフック③」をクリーナーヘッドに掛けて固定します。

● ハンドルを取り付ける・取り外す (GAS50のみ)


取り付け

- ① ハンドルの先端をそれぞれ穴に入れます。
- ② 「ハンドルクランプ⑱」で固定します。



取り外し

- ① 「ハンドルクランプ⑱」をフックから外します。
- ② ハンドルを取り外します。

 ハンドルは両手で押してください。

作業する




- ◆ 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」およびマルチクリーナーPROに接続した電動工具の電源が切れていることを確認してください。電源を入れたまま電源プラグを電源コンセントに差し込むと、マルチクリーナーPROおよび電動工具が急に動き出し事故やけがの原因になります。
- ◆ 故障したり漏電したりした場合の感電を防ぐため、アース線を接地してください。
作業場にアース端子を設けるときは、電気工事士（有資格者）に接地工事を依頼してください。


● 吸じん作業を行う



- ◆ 引火性・爆発性・発火性のゴミや高温または燃えているゴミを吸引しないでください。また、それらのものの近くで使用しないでください。爆発や火災の危険があります。



- ① 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
- ② 作業場のアース端子にアース線をつなぎます。
- ③ 「メインスイッチ⑩」を**on**にします。
- ④ 吸じん作業が終わったら「メインスイッチ⑩」を**off**にします。

 液体の吸引作業で、液体が最大吸引容量に達すると液体レベルセンサーが働き、マルチクリーナーPROが自動的に停止します。マルチクリーナーPROが停止したら、「メインスイッチ⑩」を**off**にし、タンクの水を捨ててください。（『お手入れと保管』を参照）

 液体の吸引作業のあとは、メインフィルターを取り外し、カビが発生しないようよく乾燥させてください。クリーナーヘッドも取り外してよく乾燥させてください。（『お手入れと保管』を参照）

● フィルタークリーニングを行う

このマルチクリーナーPROはメインフィルターを振動させてメインフィルターからゴミを落とす、バイブレーター機構を装備しています。吸引力を最大限に発揮させるため、定期的にバイブレーターを作動させてメインフィルターのゴミを落としてください。

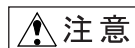
- ① マルチクリーナーPROに接続されている電動工具の電源を切ります。
 - ② 「メインスイッチ⑩」をフィルタークリーニング  の位置にします。
バイブレーターが約10秒間作動し、メインフィルターのゴミを落とします。
 - ③ バイブレーターが停止したら、「メインスイッチ⑩」を**off**に戻します。
-  **GAS50**は、自動的に風量チェックを行います。メインフィルターが目詰まりしていて風量が少なく、接続されている電動工具の電源が最低10秒間切れると、自動的にバイブレーターが作動します。

● 電動工具を接続して使用する



警告

- ◆ 電動工具の電源プラグをマルチクリーナーPROの電動工具連動コンセントに差し込むときは、マルチクリーナーPROの電源プラグを電源コンセントから抜き、電動工具の電源を切ってください。

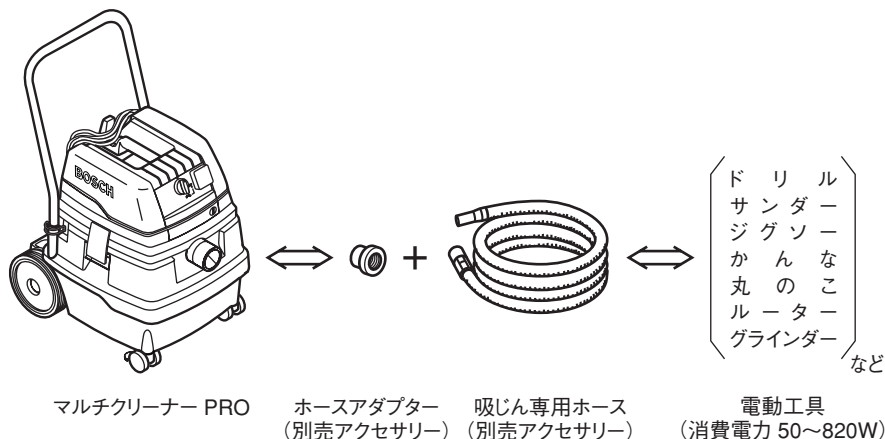


注意

- ◆ マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」が**on**の位置では電動工具を接続して使用しないでください。

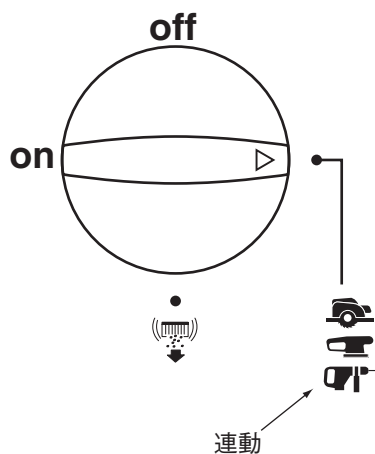
- ☞ 電動工具を接続して使用するには、別売の吸じん専用ホースとホースアダプターが必要です。
- ☞ 接続する電動工具の機種によって吸じんアダプターが必要です。

使
い
方



- ① マルチクリーナーPROのホース接続口に、ホースアダプターを取り付けます。
- ② ホースアダプターに吸じん専用ホースを接続します。
- ③ 吸じん専用ホースを電動工具に接続します。
- ④ マルチクリーナーPROの電源プラグが電源コンセントから抜けていることを確認します。
- ⑤ 電動工具の電源が切れていることを確認します。
- ⑥ マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」が**off**になっていることを確認します。


- ⑦ 電動工具の電源プラグをマルチクリーナーPROの電動工具連動コンセントに差し込みます。
- ⑧ マルチクリーナーPROの電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
- ⑨ マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」を連動の位置にします。
- ⑩ 電動工具を操作します。
電動工具の電源を入るとマルチクリーナーPROが自動的に作動します。電動工具の電源を切ると、約6秒後にマルチクリーナーPROが停止します。









困ったときは

故障かな？と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
- ② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ⑩」をonにしても作動しない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
吸引力が弱い	クリーナーヘッドが正しく取り付けられていない	クリーナーヘッドを正しく取り付ける
	タンクまたはペーパーバッグがゴミでいっぱいになっている	タンクのゴミを捨てる、またはペーパーバッグを新しいものと交換する (29ページまたは17ページ参照)
	メインフィルターが目詰まりしている	「メインスイッチ⑩」をフィルタークリーニング  にしてパイプレーターを作動させ、メインフィルターのゴミを落とす (22ページまたは28ページ参照)
	パイプ・ホース・ノズルにゴミが詰まっている	パイプ・ホース・ノズルのゴミを取り除く (28ページ参照)
	パイプ・ホース・ノズルが正しく接続されていない	パイプ・ホース・ノズルを正しく接続する (17ページ参照)
	吸引力調整ノズルの空気窓が大きく開いている	吸引力調整ノズルの空気窓の開きを調節する

困ったときは

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ⑩」をonにしてもすぐに停止してしまう	タンクの液体が最大吸引容量に達し、液体レベルセンサーが働いている	タンクの液体を捨てる (29ページ参照)
接続している電動工具の電源を入れてもマルチクリーナーPROが作動しない	<p>マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」が連動  になっていない (GAS50の場合は連動  またはフィルタークリーニング  になっていない)</p> <p>電動工具の電源プラグがマルチクリーナーPROの電動工具連動コンセントにしっかり差し込まれていない</p>	<p>マルチクリーナーPROの「メインスイッチ⑩」を連動  にする (GAS50の場合は連動  またはフィルタークリーニング  にする)</p> <p>電動工具の電源プラグをマルチクリーナーPROの電動工具連動コンセントにしっかり差し込む</p>

困ったときは

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社お客様ご相談フリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーダイヤル ☎ 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後6:00

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107 埼玉県熊谷市千代39

株式会社バンテックゼットロジ内

TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡親宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、お手入れをしてください。



クリーニング

- 乾いた、柔らかい布で本体およびパイプ・ホース・ノズルの汚れをふき取る




 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

- パイプ・ホース・ノズル内に付いたゴミを取り除く

- メインフィルターに付いたゴミを取り除く


- ① コインなどを「フィルターカバーロック⑧」の溝に挿入します。
- ② 「フィルターカバーロック⑧」を反時計方向に90° 回し、押し込みます。
- ③ クリーナーヘッドのカバーを上を開けます。
- ④ メインフィルターを引き上げて取り出します。

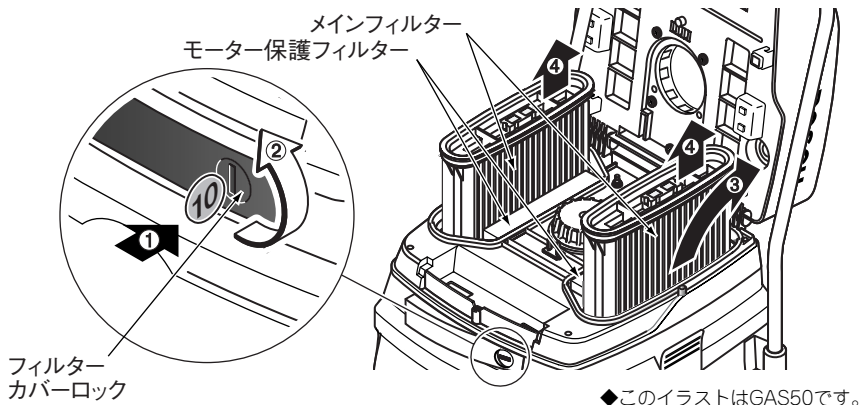
 **GAS25**は1つです。

- ⑤ メインフィルターに付着したゴミを取り除きます。
 -  プラスチック部分を軽くたたいてゴミを振り落としてください。その際、フィルターを変形、破損させないように注意してください。
 -  特に汚れがひどいときは、水で洗い流してください。その際、フィルターを傷付けないように注意してください。水洗いしたあとは、よく乾燥させてから使用してください。
 -  ゴミを取り除けない場合、または損傷がある場合は新しいものに交換してください。

- ⑥ 清掃した、または新しいメインフィルターを挿入し、確実に押し込みます。

- ⑦ クリーナーヘッドのカバーを閉めます。

 カバーを上から少し押さえると、「フィルターカバーロック⑧」が締まります。



● モーター保護フィルターに付いたゴミを取り除く

- 通常はお手入れの必要はありませんが、ときどき取り出して水洗いしてください。そのあと、よく乾燥させてから取り付けてください。ゴミを取り除けない場合、劣化、変形、損傷がある場合は新しいものに交換してください。

☞ モーター保護フィルターの取り付け位置およびクリーナーヘッドのカバーの開け方は、『メインフィルターに付いたゴミを取り除く』を参照してください。

● タンクのゴミまたは液体を捨てる

- ① 「クリーナーヘッドロックフック③」を外し、クリーナーヘッドを取り外します。

- ② タンクのゴミまたは液体を捨てます。

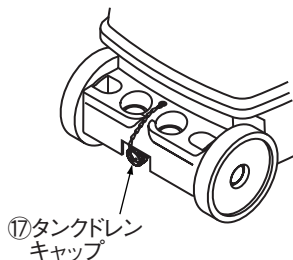
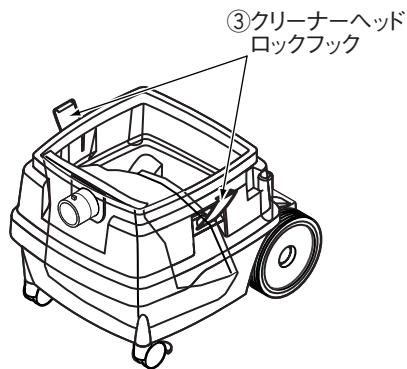
ゴミ

ゴミを取り除いたあと、市販の研磨剤が入っていない洗剤で洗います。

液体

GAS25の場合は、タンクを傾けて捨てます。

GAS50の場合は、タンクドレンキャップ⑰を外して捨てます。



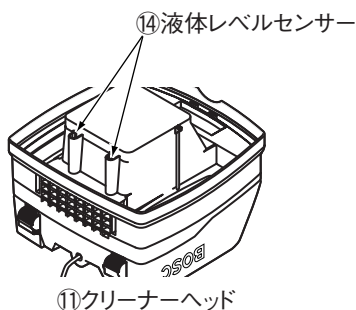
保
お
手
入
れ
と
管
と

- ③ タンクをよく乾燥させたあと、クリーナーヘッドをタンクに載せ、「クリーナーヘッドロックフック③」をクリーナーヘッドに掛けて固定します。

☞ 左右2か所にあるので、掛け忘れのないようにしてください。

● 液体レベルセンサーの汚れをふき取る

- ① 「クリーナーヘッドロックフック③」を外し、クリーナーヘッドを取り外します。
- ② 図のようにクリーナーヘッドを上下逆に置きます。
- ③ 乾いた柔らかい布で、液体レベルセンサーの汚れをふき取ります。
- ④ クリーナーヘッドをタンクに載せ、「クリーナーヘッドロックフック③」をクリーナーヘッドに掛けて固定します。



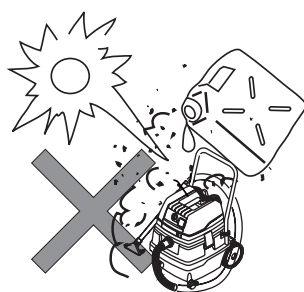
☞ 左右2か所にあるので、掛け忘れのないようにしてください。

保
お
手
入
れ
と
管

保 管

● マルチクリーナーPROを使ったあとは、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



付 録

別売アクセサリ

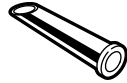
● ホースアダプター

品番：1 609 200 933



● 35φ すき間ゴムノズル (220mm)

品番：1 609 201 229



● 35φ 床用ノズル (90×270mm)

品番：1 609 201 230



● 35φ 床用ノズル (S) (22×120mm)

品番：2 607 000 166



● 35φ 丸型ブラシ (65mmφ)

品番：1 609 390 481



● 35φ スクラッチノズル (30×157mm)

品番：2 607 000 168



● 吸じん専用ホース

品番：1 610 793 002



保
お
手
入
れ
と
管

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



BOSCH

ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ：<http://www.bosch.co.jp>

〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

 **0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前 9:00~午後 6:00)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルの
ご利用はできませんのでご了承ください。